

## 「戦後」40年のベトナムー「社会主義的市場経済」が直面する課題ー

湘南科学史懇話会  
2015年3月14日  
中野亜里

はじめに：「ベトナム」という意味的世界

ベトナム人にとっての「ベトナム」という小宇宙＝自分・親族共同体・村落社会  
「表＝タテマエ」と「裏＝ホンネ」の乖離した二元的世界  
日本人と根本的に異なる点：国家を信用しない

### I ベトナムをどう見るか

#### 1. 日本人の視線

##### (1) ベトナム戦争のわかり易い解釈

北ベトナム・南ベトナム解放民族戦線 VS 米帝国主義・南ベトナム傀儡政権

##### (2) サイゴン「解放」から一気にドイモイ・経済発展へタイムスリップ

##### (3) 神話の独り歩き

- ① 民族解放神話：米帝国主義の被害者像を求める → 「枯葉剤が原因と思われる障害者」
- ② 社会主義神話：実態を見ようとしな

#### 2. 日本で究明されてこなかった問題

##### (1) 公的史観の検証：実際の戦争はどうだったのか（総合的な死傷者の統計未公表）

##### (2) 南ベトナム解放民族戦線・臨時革命政府と南ベトナム中立化構想はどこに消えたのか

##### (3) ベトナム共和国（南ベトナム）とは何だったのか：政治権力に対して自律的な市民社会が南部には存在

##### (4) 統一後ドイモイまでに何があったのか：なぜ一党独裁でなければならないのか、誰が解放されたのか

##### (5) 政治的民主化・人権問題：ベトナム研究・民主主義研究の対象とならず、問題が可視化されない

#### 3. ベトナム戦争の「戦後」

##### (1) 北ベトナムによる南ベトナムの軍事制圧、南部の急激な社会主義改造

##### (2) 南部への報復的・差別的政策 → 国家建設に有用な人材やシステムを排除

##### (3) 中ソ対立の投影 → 中越関係の悪化 → カンボジア問題

###### ① ベトナム軍のカンボジア侵攻（1978年12月～）

「カンボジア人民の要請」「ベトナムの自衛反撃」

⇔ベトナムの国益：統一直後の不安定な南部（穀倉地帯メコンデルタ）の安全保障

###### ② 中越戦争（1979年2月～）

中国を撃退したという公的史観 ⇔ 中国の限定作戦、ベトナムの敗戦（1984年）

##### (4) ドイモイの要因 = カンボジア侵攻・難民流出による国際的孤立と経済破綻

##### (5) 東欧民主化・ソ連崩壊の影響

党内論争 → 民主派の失脚 → 「ベトナム的社会主義志向」（1991年第7回党大会）

#### 4. 現在の位相

##### (1) 「社会主義志向市場経済」 → 政治的には全体主義、経済的には開発独裁

「反国家宣伝」「自由・民主的権利の利用」「民族大団結への違反」を理由にした不当逮捕・投獄、家宅搜索など

司法の独立性はなく、法に則った異議申し立ては困難。陳情・直訴、焼身抗議のような手段に訴えるしかない。

- (2) 社会主義より民族主義を強調：共産党員でもマルクス・レーニンを学ばない  
体制維持のための「敵」の創出、「民族大団結」
- (3) 民族和解：革命の論理の限界（暴力を肯定、常に敵を想定）
- (4) 政治的民主化：社会の同調圧力・人々の自己規制
- (5) 持続的発展：体制の正統性維持のために経済発展の実績を示し続ける必要

## II ベトナムが直面している課題

1. 「工業化・近代化」（1994年中間期党大会）の意味？：科学技術信仰、「環境問題＝公害」という理解
2. 公共性の欠如：ex.東日本大震災と在京ベトナム大使館 → 自分と家族の利益が基本
3. 持続的発展に必要な環境ガバナンス：ボーキサイト開発の事例
  - (1) 国家的戦略の欠如
  - (2) 政府の説明と現場の実情の乖離
  - (3) 民主的ガバナンスの欠如：計画の透明性・説明責任の不足、市民との対話を拒絶
  - (4) 資源の配分は国家が決定、環境被害は個人が負う
  - (5) 原発導入への問題提起：「ベトナム人が決めること」？

### おわりに

意識改革の困難さ

⇔ いい加減さ、変わり身の速さ、過去を問題にしない性質などが、政治・社会を徐々に変えてゆく...

### = 参考 =

- 小高泰 著『ベトナム人民軍隊—知られざる素顔と奇跡』暁印書館、2006年  
中野亜里編著『ベトナム戦争の「戦後」』めこん、2005年  
中野亜里著『現代ベトナムの政治と外交』暁印書館、2006年  
『ベトナムの人権 多元的民主化の可能性』福村出版、2009年  
「ベトナムにおける党-国家と市民社会の関係性」現代ベトナムの国家と社会』明石書店、2011年  
「大規模開発をめぐるガバナンスの諸問題—ボーキサイト開発の事例から原発建設計画を問う」『原発輸出の欺瞞』明石書店、2015年  
ティン・ティン著・中川明子（中野亜里）訳  
『ベトナム革命の内幕』めこん、1997年  
『ベトナム革命の素顔』めこん、2002年  
チュオン・ニュー・タン著・吉本晋一郎訳『ベトナム・メモワール』原書房、1986年  
牧久 著『サイゴンの火炎樹 もうひとつのベトナム戦争』ウェッジ、2009年  
・・・  
（近刊）フイ・ドック（中野亜里訳）『Bên Thắng Cuộc（邦題未定）』めこん、2015年